

# しよわ



## 今月の表紙 2022.3.25

ママ、どうぞ。

保育所修了式での、ワンシーン。退場時に、修了証を子供から保護者の方へ手渡していました。照れくさそうに手渡す子供を、温かな眼差しで見守る来賓の方々や、保護者の方々。4月からは1年生。元気に学校に行って、楽しい思い出をいっぱいつくってね！

# 卒業・修了おめでとう

新たな門出



3月11日に、昭和中学校で、3月23日には昭和小学校で卒業証書授与式。3月25日には、昭和村保育所で修了式が行われました。

新型コロナウイルス感染症の予防対策により式典の一部省略や来賓者数の制限が行われる中、卒業生・修了生に一人一人卒業・修了証書が手渡されました。

中学校では、卒業生の工環月さん（小中津川）から、中学校生活の思い出を振り返ると共に、先生方や家族、地域の方々への感謝の言葉が贈られ、会場は感動に包まれました。

小学校では、6年間の思い出を振り返る卒業生と在校生の呼びかけが行われるとともに、卒業生から両親への感謝の言葉や、新たな決意が述べられました。

卒業生、修了生一人一人が希望を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

◁ 昭和中学校 卒業式

卒業生 4名



昭和小学校 卒業式 ▷

卒業生 5名



◁ 昭和村保育所 修了式

修了生 5名



## からむし織体験生・ 研修生修了式

3月18日、昭和村公民館において、「からむし織体験生・研修生修了式」が行われました。

関係者が見守るなか、舟木村長から、体験生・研修生一人一人に修了証書が授与されました。

体験生・研修生からは、1年間お世話になった講師や村の方々に感謝の言葉が伝えられました。



## 体育協会表彰

3月2日、昭和村体育協会表彰規程に基づき、昭和中学校の生徒2名に、優秀選手賞を授与しました。この賞はスポーツ選手として、輝かしい功績を挙げた方を表彰するもので、受賞された生徒は次のとおりです。

●五十嵐直人

福島県学年別卓球選手権大会  
会津地区予選3年男子第2位県大会出場

●山内嘉衣

福島県学年別卓球選手権大会  
会津地区予選2年男子第3位県大会出場



## クルミ健康器具寄贈

3月8日、只見町の五十嵐孝雄様より、介護予防のため手先の運動に活用してほしいと、手作りのクルミ健康器具300個をご寄贈いただきました。

希望される方にはすみれ荘でお配りするほか、村の健康・保健事業で大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



## 昭和村連絡員（区長）

各区長の方には、村民の皆様との連絡をスムーズに行うため、連絡員として御尽力いただきます。

地区名		月別		氏名							
松山	野尻	中向	下中津川	小中津川	佐倉	喰丸	両原	大芦	小野川		
佐々木 正人	渡部 節雄	中丸 政則	舟木 秋広	束原 喜好 星 憲一	束原 健史 本名 大輔	本名 昭司 馬場 政之	本名 鉄五郎 齋藤 誠	萬實 清男 山内 富士雄	羽染 直一	五十嵐 喜久男 渡辺 武美	渡部 政衛

## 地域づくり懇談会の内容をお知らせします！

新型コロナウイルス感染症の影響のため、2年ぶりの開催となった地域づくり懇談会（12月16日～22日）で皆様から日頃考えていることやご提案、ご意見など約200件の議論を交わしましたのでお知らせします。

### ●参加76名の年代別状況

年代	全体	男性	女性
30代	2	1	1
40代	1	1	
50代	3	2	1
60代	24	23	1
70代	34	30	4
80代	12	12	

### ●地区別参加者数

地区名	人数
松山	7
野尻	10
中向	12
下中津川	6
小中津川	9
佐倉	4
喰丸	5
両原	7
大芦	6
小野川	10

### ●話題が多かったもののトップ10

話題	件数
空家対策・利活用	18
博士トンネル開通後の交通・利活用	16
耕作放棄地対策	9
集落戦略策定	9
農業後継者問題（新規就農者含む）	8
河川堤防舗装	7
米価下落支援対策	6
有害鳥獣対策	6
敬老祝金支給	5
コロナワクチン接種	5

最も多かった「空家対策・利活用」と「博士トンネル開通後の交通・利活用」について、村民と意見を交わした内容は次のとおりです。

## 1 空家対策・利活用

（ご意見）

- ・壊れかけた空家を今後どうするのか。
- ・移住する方と移住を受け入れる地区の情報共有を図ってほしい。
- ・新聞報道で東京都の不動産会社と連携し実施する空家対策とは何か。

（村）

- ・活用できる空家、できない空家を整理し、危険な空家は特定空家に認定し相続人に取り壊しを進めています。
- ・空き家バンクを利用して移住する方には調整の段階で移住先地区のルール説明や、区長、世話役等への面会を促しスムーズに移住できるよう対応します。
- ・不動産会社と連携して、専門家の目線で資産価値を評価し、それを所有者と利用者の間に立ち、空き家の活用に繋げる取組をします。

## 2 博士トンネル開通後の交通機関・利活用

（ご意見）

- ・単なる昭和村が通過点にならないように昭和村の魅力づくりを仕掛けてほしい。
- ・公共交通機関をどうするのか。

（村）

- ・昭和村の玄関となる村指定天然記念物である「水芭蕉としらかばの杜」が昭和村全体のイメージに繋がるので、集落の方に応援してもらい一緒に整備を進めていきたい。
- ・高齢者の特殊外来（整形外科、眼科）や、学生通学のための公共交通機関の整備は考えていきたい。時期については検討中です。

## 公民館日誌

### ○古文書勉強会 1月15日～3月26日まで全6回

小林盛雄さん、からむし工芸博物館の松尾悠亮さんのお二人を講師に、「御仕置五人組帳」をテキストとして古文書の読み方や変体仮名について学びました。



### ○矢ノ原湿原等調査報告会 3月13日

福島大学に委託して矢ノ原湿原などの調査を行った結果報告を、共生システム理工学類 黒沢高秀教授と4年生の大内駿平さんに、また「自然の資源を生かした会津の地域活性化について」というテーマで、食農学類 林薫平准教授に事例発表をしていただきました。



### ○第22回将棋大会 3月27日

昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年度は対策を講じて実施いたしました。

今回も幅広い年代の7名が出演して熱戦を繰り広げ、見学の子ども達と一緒に盛り上がりました。

結果は次のとおりです。おめでとうございます。

優勝 佐藤 太 (佐倉)  
準優勝 本名 松意 (小中津川)  
第3位 栗城 光三 (松山)



## ふるさと納税 —ご寄付いただいた皆様ありがとうございます—

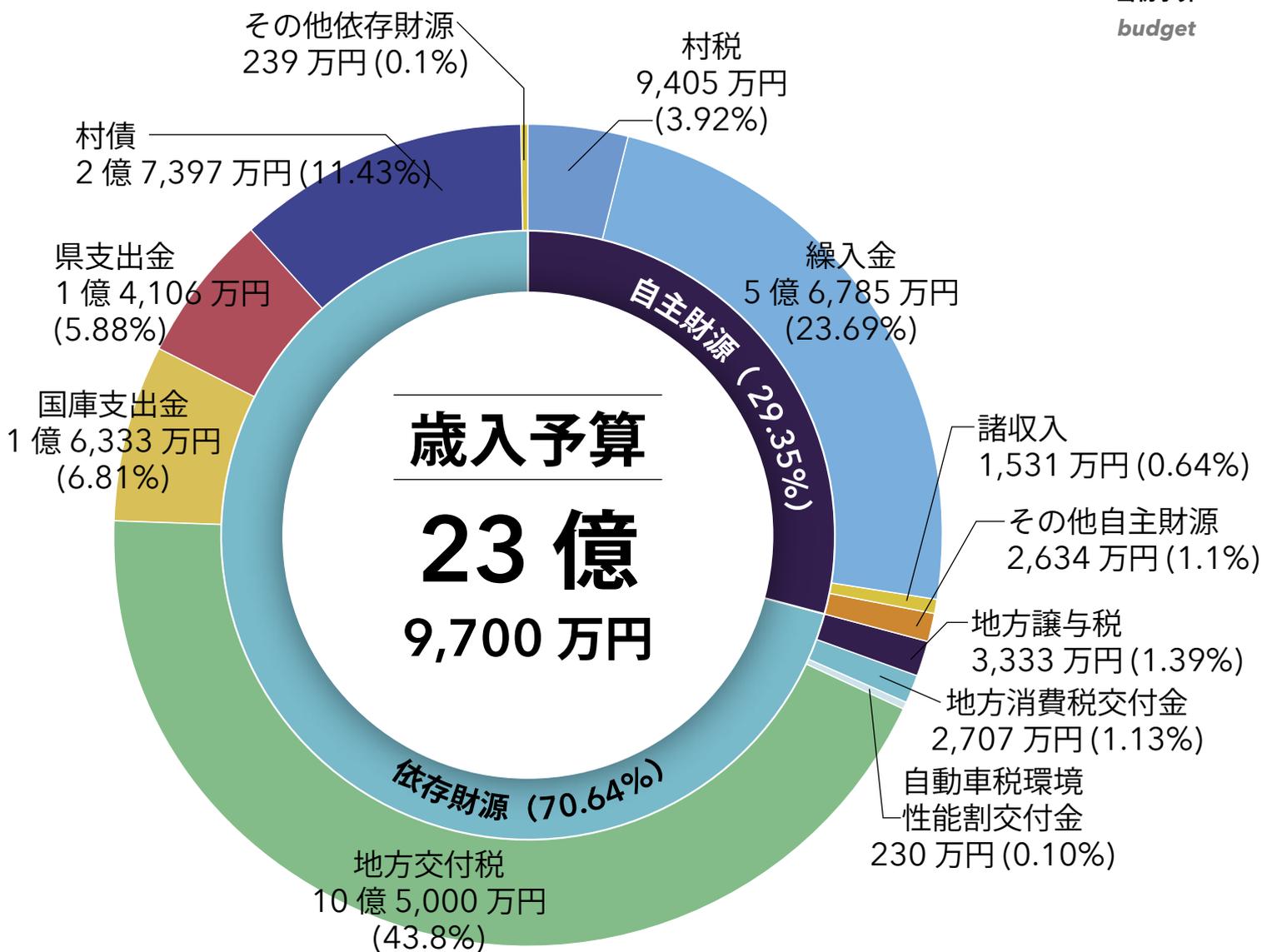


令和4年2月19日 ～ 3月27日まで

【寄付件数】 3件 【寄付金額】 6万3千円

ご寄付は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

ご寄付いただきありがとうございました。



## 令和4年度一般会計予算

# 23億9700万円

令和4年度の一般会計と特別会計予算が、3月に行われた第1回議会定例会で可決されましたので、その概要をお知らせします。

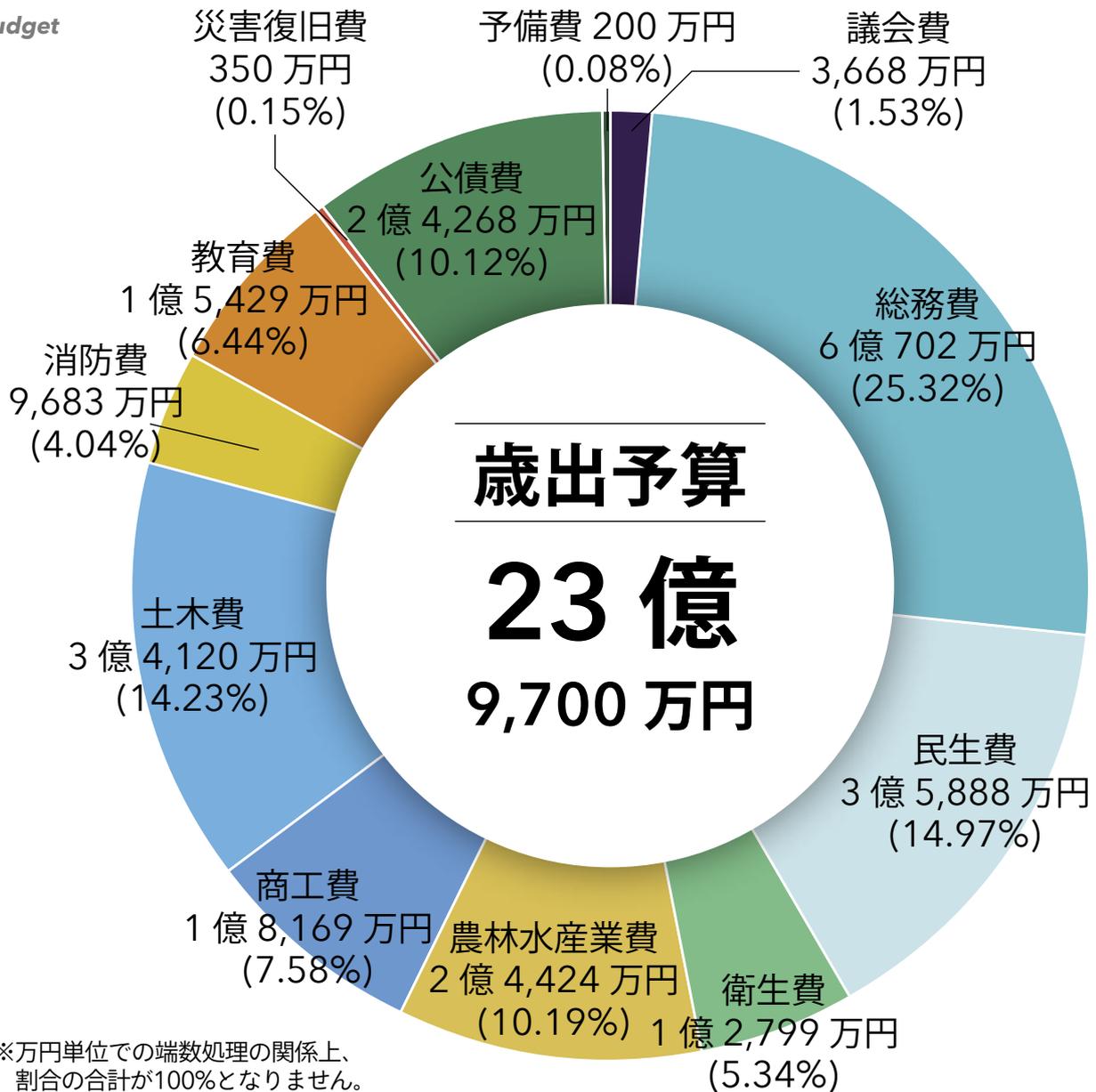
歳出については、第6次昭和村振興計画の着実な実現に向け、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、これまでの効果を検証し、事務事業を計画しました。

### 村税の内訳

税種	予算額	前年度増減
村民税	3,810万円	424万円
固定資産税	4,526万円	90万円
軽自動車税	515万円	52万円
たばこ税	480万円	61万円
入湯税	74万円	16万円
合計	9,405万円	643万円

その結果、一般会計予算の総額は23億9千7百万円、前年度当初予算と比較して2億4千9百万円、率にして11・6パーセントの増となったところです。

歳入については、地方交付税を前年度と同額で見込んだほか、基金の繰入れについては、



※万円単位での端数処理の関係上、割合の合計が100%となりません。

● 性質別予算額

	費目	予算額	割合
義務的経費	人件費	4億 622万円	16.9%
	扶助費	3,441万円	1.4%
	公債費	2億 4,268万円	10.1%
投資的経費	普通建設事業費	3億 9,160万円	16.3%
	災害復旧費	350万円	0.1%
その他の経費	物件費	4億 1,106万円	17.1%
	維持補修費	1億 6,937万円	7.1%
	補助費等	4億 3,654万円	18.2%
	積立金		
	貸付金		
	繰出金 予備費	3億 162万円	12.6%

● 令和4年度特別会計予算

会計名	予算額	前年度増減
国民健康保険 事業勘定	2億 528万円	▲ 1,015万円
国民健康保険 施設勘定	1億 2,137万円	▲ 829万円
後期高齢者医療 特別会 計	2,900万円	274万円
簡易水道特別会計	7,030万円	116万円
下水道特別会計	8,004万円	582万円
農業集落排水特別会計	5,930万円	392万円
合併浄化槽特別会計	484万円	13万円
介護保険特別会計	3億 6,408万円	▲ 1,478万円

## ● 主な事務事業費

村民の皆様が「この村でここちよく暮らせる」環境づくりのため、多岐に渡り事業を計画していますが、そのうち各費目ごとの主な支出は次のとおりとなっています。

### 総務費 6億702万円

● 地域公共交通計画策定事業（交通量調査、試験運行等）	535万円	● 地上デジタル再送信設備更新	1億4,309万円
● からむし織体験生・研修生事業	1,287万円	● 公共インフラ Wi-Fi 整備事業（矢ノ原地区/スマート農業実践支援事業）	1,864万円
● からむし後継者育成事業	421万円	● オウンドメディア運用事業	259万円
● からむし工芸博物館運営費	309万円	● 一人暮らし等高齢者見守り実証事業	47万円
● 未来を描く地域団体応援事業補助金	490万円	● 戸籍システム改修事業	485万円
● 庁内デジタル化推進事業	228万円		

### 民生費 3億5,888万円

● 昭和福祉会補助金	2,498万円	● 見守り活動事業委託料	206万円
● 高齢者生活福祉センター運営事業等委託料	757万円	● アクティブシニア活動事業委託料	50万円
● 昭和村社会福祉協議会補助金	484万円	● 成年後見センター設置運営業務委託料	30万円
● 放課後児童クラブ運営費	245万円	● すみれ荘エアコン設備設置工事	330万円
● 高齢者世帯等除雪支援事業	116万円		

### 衛生費 1億2,799万円

● 会津若松地方広域市町村圏整備組合衛生費負担金	922万円	● 総合健診（ガン検診推進事業含む）	569万円
● 廃棄物運搬委託料	699万円	● PCR検査委託料	135万円
● 予防接種	314万円	● 新型コロナウイルスワクチン接種事業	177万円
● 母子保健事業	150万円		

## 農林水産業費 2億4,424万円

● 新規就農者確保事業	1,750万円	● 産地生産力強化総合対策事業 (パイプハウス)	1,030万円
● 中山間地域等直接支払事業	1,753万円	● 病虫害防除事業	100万円
● 多面的機能支払交付金事業	1,185万円	● 有害鳥獣防護柵等設置事業補助金	604万円
● 担い手支援対策事業補助金	1,090万円		

## 商工費 1億8,169万円

● 奥会津特定地域づくり事業協同組合支援事業	850万円	● 昭和村関係人口拡充事業(喰丸小)	634万円
● 昭和村地域振興券発行事業	2,544万円	● 空き家対策事業	374万円
● からむし織の里指定管理料	3,072万円	● 昭和村特産品通信販売事業	446万円
● 観光協会補助金	950万円	● 歳時記の郷基盤整備事業(キャンプ場等改修工事)	5,324万円

## 土木費 3億4,120万円

● 急傾斜地・土砂災害警戒区域保全管理費	200万円	● 村道改良舗装工事測量設計業務委託	1,400万円
● 道路維持補修費(除雪経費含む)	1億5,169万円	● 橋梁長寿命化修繕事業	5,100万円

## 消防費 9,683万円

● 会津若松地方広域市町村圏整備 組合消防費負担金	6,494万円	● 小型動力ポンプ付軽積載車更新事業	690万円
------------------------------	---------	--------------------	-------

## 教育費 1億5,429万円

● スクールバス運転管理業務事業	1,575万円	● ICT教育支援委託料	194万円
● 複式学級支援講師	938万円	● 健康増進施設改修工事	2,500万円
● 特別支援教育等支援員	347万円	● 生涯学習推進事業	49万円
● 外国語青年招致事業	520万円	● 民具整理・聞き取り調査事業	144万円

令和4年 3月議会  
施政方針

令和4年度の村政執行に当たっての基本的な考え方と主要な施策について、第6次昭和村振興計画の基本目標の区分に従って、お知らせします。

●「持続可能な協創の村」について

人口減少が進む中で、地域の課題を解決していくためには、村民と行政、さらには多様な主体が連携し、一方に頼るだけではない、共に手を取り合い、互いに役割を果たす互助の村づくりの確立が必要となります。

それには、村内の各集落が今後どうあるべきか、どうありたいかを集落自らが主体となってビジョンを描き、計画的に事業を行うことが大切なことから、村としても集落戦略策定の支援を行うとともに、集落戦略を策定した集落や積極的に革新的な取組を

行う団体に対して、未来を描く地域団体応援事業により支援します。

また、地域の課題解決には情報の共有が大切であることから、村の公式ホームページと公式LINE（ライン）をさらに活用し、防災や健康・福祉、子育て、生活環境、農業、観光、そして生涯学習など、様々な行政情報を発信するとともに、村民の皆さまからは、いつでも誰でも事業提案などができる取組を継続し、互助による村づくりを推進します。

併せて、村民が地域において自分らしく暮らしていくために、生活支援コーナーやデザイナーの活動を通して地域課題や生活課題を把握し、生活支援体制の構築を図ります。

●「心地よく暮らせるむら」について

保健・福祉については、各種検診事業や保健事業を実施し、健康に対する意識向上と生活習慣の改善に努め、医療・介護・福祉

の充実を図ります。特に、新型コロナウイルスに対しては、村民の安心・安全を最優先に考え、国や県、関係機関と連携して、しっかりと対応します。また、高齢者見守り支援員による安否確認事業を継続し、保健師や生活支援コーディネーターの訪問によるアウトリーチ対応を積極的に行うとともに、様々なデータを見える化して健康管理の関心を高め、疾病予防・健康づくり対策に努めます。

社会教育では、質の高い芸術文化に触れる機会を確保するとともに、村民の学習意欲に応える魅力的な学級や講座を引き続き開催し、世代に応じた生涯学習事業の充実を図ることと、生きがいの創出や学びの機会の提供に努めます。また、地元学としての昭和学講座も継続し、村民の郷土理解を深めることにより、郷土愛を醸成していきたいと考えています。社会体育では、体育協会を始め各種団体やスポーツ推進委員の活動を支援

し、運動やスポーツを通じた村民の健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりに取り組んでいきます。また、ふくしま駅伝の七町村合同チーム「希望ふくしま」において、本村選手の活躍を応援していきます。

交通手段の確保については、村内で生活していく上で自家用車が必須と言わざるを得ない状況であり、交通弱者と呼ばれる人たちの日常生活を支える多様な交通手段の構築が急がれています。このことから、今後の地域における合理的な公共交通網のあり方を検討し計画を策定するため、基礎調査として、交通量調査や昭和村南会津町生活バスの冬季試験運行を行うとともに、博士トネル開通後の公共交通体系の検討を進めていきます。また、次世代技術を活用した公共交通や、共助による交通体系の先進的な事例の調査も進めていきます。

非常時の体制については、近年、全国的に大規模な災害が頻発しており、要

援護者を支援する地域ぐるみでの体制づくりが求められていることから、集落と共同で防災訓練を行うとともに、災害用備蓄品や消火栓、消防団の車両など、消防・防災設備の計画的な更新を行っていきます。また、現在運用している防災行政無線の設備が運用開始から10年以上経過し、令和5年度には更新する必要があることから、新年度は費用と効果を見極めつつ、新たな仕組みを検討していきます。

村道等における除排雪体制の維持については、引き続き新たな除雪作業従事者の育成支援を行い、安全で安心な冬期間の交通確保と、冬に強い生活環境の維持に努めます。また、高齢者の除雪支援については、住宅の維持管理に必要な除排雪設備の設置に対する助成や、登録除雪作業員による除雪支援事業を継続していきます。空き家・移住対策については、空き家バンクの登録数を増加させ、より効果的な運用が図られるよう、登

いきます。

## ●「生きる力を育む教育のむら」について

録が困難となつている物件について引き続き専門家による調査を行い、空き家の現状や状況などを把握しながら、実情に応じた対策に取り組んでいきます。また、移住を希望・検討している方に対する空き家の情報提供を始め、様々な調整を円滑に行っていたべく総合的な世話を地域住民の方に担っていただき、地域住民と村が連携・協力して受入体制を強化するとともに、互いに情報を共有しながら合意形成が図られるよう努めていきます。さらに、移住に強く関心がある方々を対象として、本村への移住体験モニターツアーを行い、ツアーの様子を動画で配信するなど、本村の魅力を積極的に発信しながら、移住者を増加させる取組を推進するとともに、移住・定住に関する相談などについても、引き続き丁寧に対応していきます。

持続可能な昭和村を築いていくためには、次代の担い手育成が基本となります。教育内容と教育環境のなお一層の充実を図るため、小・中学校の更なる連携を推進するとともに、小中一貫教育についても保護者や村民の理解を深め、本村における学校教育の方向性を具体的に検討していきます。

また、郷土を理解し愛する心を育むため、地域の特色を活かした「からむし学習」や「花育」などの総合的学習を実施します。併せて、英語指導助手の配置による英語力の向上と国際理解の充実に加え、タブレット端末、電子黒板など情報通信技術を活用したオンライン授業や家庭学習を展開することにより、新しい時代に即応できる力の育成に努めていきます。

学校教育では、村独自の

取組として、小学校の複式学級を実質的に解消するために講師2名を配置いたします。また、特別支援員1名を配置し、全ての児童生徒が等しく教育が受けられるように取り組んでいきます。

さらに、妊娠・出産から子どもの成長に応じた切れ目のない支援を行うため、教育委員会と保健福祉課、保育所、小中学校などとの連携を更に深め、安心して子育てができる環境づくりを構築していきます。

子育て支援については、保育所や放課後児童クラブ運営の充実に努め、保護者が安心して働きながら子育てができる環境を維持します。また、子育て期間における医療費の助成や乳幼児衛生用品の支給を継続することで、子育て世帯の負担軽減を図ります。

## ●「生業と誇りある仕事を生むむら」について

農業の振興については、水田農業者を対象とした

担い手農業者支援事業を継続することで、農業者の生産意欲を引き出し、所得向上を図るとともに、地域農業の振興や活性化、農地の有効活用による耕作放棄地等の発生を未然に防ぐなど、持続可能な営農体系の構築に努めます。また、新年度についても関係機関と連携し、宿根カスミソウの新たな担い手の確保に向け、積極的に取り組んでいきます。加えて、農業従事者の高齢化や後継者不在などによる担い手不足、鳥獣被害の拡大、さらには農産物の価格低迷などで離農者が増え、耕作放棄地の再生が困難な農地も増加していることから、集落や地域住民との意見交換を通して、問題や課題を共有し、実情に応じた様々な利活用について検討していきます。

継業については、人口の急減に直面している地域において、人材を事業者に派遣するための仕組みを創出し、地域担い手の通年確保や地域社会の維持・活性化を図るため、本村と柳

津町、二島町の三町村による特定地域づくり事業協同組合が設立され、早期に事業が開始されるよう支援していきます。また、本村の各商工業者においては、縁故者による経営の継続が将来的に見通せない状況にあり、村民の日常生活に支障を来す懸念があります。将来を見据えた村内商工業の継続的な経営確保が図られるよう、昭和村商工会と連携し、村内商工業者に意向を調査するとともに、特定地域づくり事業協同組合制度の活用や、Uターン者などが継業する際の育成方法の検討、起業や商品開発を行う方に対する補助や支援制度の情報提供など、引き続き積極的に支援していきます。

加えて、新型コロナウイルスの地域経済に与える影響が長期化していることから、飲食業や宿泊業、小売業など、あらゆる業種における売上げの減少で、村内の経済は疲弊し活気が失われています。また、原油高の影響により、地域

住民の日常生活においても様々な支障が生じるなど、本村を取り巻く状況は大変厳しいものであると認識しています。このことから、村民の消費喚起を促し、地域経済を活性化させることを目的とした地域振興券を発行して、全村民及び村内商工業を支援していきます。

「からむし」については、生産者が高齢化し、作業負担が大きい植え替えに対して支援するなど、からむし栽培維持のため奨励制度を継続してまいります。また、3月11日からは、令和3年度の体験生と研修生による作品展を織姫交流館で開催しました。新年度も、からむし体験生事業、研修生事業を継続します。

さらに、「奥会津昭和からむし織」についても、国の支援を頂きながら、後継者の育成や需要の開拓など、関係団体と連携し、からむし織の維持継承と振興に努めていきます。

併せて、からむし工芸博物館の次期企画展で、から

むし生産用具の素材展を計画しているほか、地機織学習会などを通じ、より多くの村民の皆さまに「からむし」に携わっていただく取組を進めてまいります。

文化財の保護については、小野川生涯学習センターに保管されている民具類の分類と整理を続けていきます。また、国指定天然記念物「駒止湿原」及び村指定天然記念物「矢ノ原湿原」の保護・監視に努めながら、地域に残る伝統文化、文化財及び自然環境の保護・継承に引き続き取り組んでいきます。

観光・誘客については、本村においても新型コロナウイルスの感染が確認されるなど、収束の時期が見通せない現状においては、感染拡大地域に移動を伴う事業、不特定多数が参加する大規模イベント、飲食でマスクを外すなど、感染リスクが高いと判断される事業については、6月末頃まで見合わせることにしました。また、姉妹都市の草加市で開催されるイベントや東京都内で実

施される催事についても中止することとし、7月以降は、本村を始め、全国の感染状況等を総合的に勘案し、実施の可否について慎重に判断してまいります。

観光協会の体制強化については、地域おこし協力隊事業として有資格者の人員を確保するとともに、移住や定住のきっかけとなる観光客や関係人口の増加が図られるよう、本村にしかない地域密着型の旅行商品の造成等を支援してまいります。

新年度も喰丸小を活用して、チャレンジショップ「よいやれ屋」やマルシェなど、本村の魅力を発信する事業を展開し、賑わいを創出していきます。

奥会津昭和の森キャンプ場については、屋根塗装や遊歩道の整備、管理棟内のシャワー室増設等の改修工事を行い、利便性向上に努めていきます。また、道の駅からむし織の里しようわ敷地内に、株式会社ボケモンから寄贈された遊具等を設置し、新たな

魅力を発信することにより本村への誘客を図るとともに、幅広い年代層の集いの場や交流の場としての活用について検討してまいります。

有害鳥獣被害の軽減については、令和3年度、県会津坂下農業普及所の鳥獣被害対策のモデル集落に選定された集落に対し、見回りや物品購入等に対する財政支援や意見交換を行いながら、持続可能な体制整備の構築に向けた、既に地域ぐるみで取り組まれていた集落や団体・法人に対しても、関係機関の協力を得ながら引き続き支援するとともに、まだ取り組まれていない集落に対しましては、専門家からのアドバイスを頂きながら、集落の実情に即した鳥獣被害対策の推進に努めていきます。さらに、電気柵等を広範囲に設置し、侵入による被害を軽減させる取組を実施する集落や団体、法人に対する補助や、個人への電気柵の助成を引き続き実施しま

す。加えて、ワナ猟免許の取得支援を継続するとともに、止め刺しの業務に従事する方への支援や銃猟免許の取得支援、情報通信技術を活用した箱ワナの整備や、くくりワナの購入補助など、将来に渡って持続可能な体制が確保されるよう積極的に取り組んでいきます。

## ●「先端的過疎への挑戦」について

国では人々の生活をより良くしていくために、行政面での課題解決や、住民目線での行政手続の簡略化など様々な分野において、デジタル技術を浸透させる変革を進めています。また、本村を含む会津地域13市町村と県会津地方振興局では、地域住民が健康で文化的な満足度の高い生活を実現し、地域経済が持続的に発展できるよう、デジタル技術を始め、アナログ的な手法も含め、あらゆる手法を活用し、事務事業の効率化や標準化、広域連携による地域の課題解

決を進めることを目的に、令和4年1月に「人生百年時代 会津地域自治体広域連携指針」を策定しました。

本村においては、令和3年度から国や県のデジタル変革に対応する組織を設け、デジタルを活用した庁内業務の改善や、公式LINE(ライン)を用いた行政情報の提供、村民の皆さまからはオンラインによる新型コロナウイルスによる有害鳥獣出没の情報提供、村政に対する事業提案を始めたところです。

新年度は、村民の皆さまの行政手続簡略化のため、マイナンバーを活用した手続を導入するほか、高速通信網を活用した実証事業として、有害鳥獣対策事業と除雪機械遠隔操作事業を引き続き行うとともに、新たに、一人暮らし高齢者の見守り実証事業を行う計画です。

デジタル変革の要として国が位置付けているマイナンバーカードの普及については、令和4年2月

1日現在の本村の交付率は56・3%で、前年同時期と比較して17・1ポイント増加し、全国では26番目、県内では3番目と高い位置にあります。新年度は事業所や集落などに出向いて臨時の申請窓口を開設し、交付率の更なる増加を図ってまいります。

また、暮らしを豊かにするための手段として、行政や村民の皆さまが、農業・福祉・医療・教育・防災など様々な分野で活用できる公共インフラMINTO(マイファイ)整備事業については、矢ノ原地区の整備工事に着手するとともに、農業分野での活用の一つとして、新規就農者の栽培技術相談に遠隔で支援することができると、スマート農業実践支援事業に取り組めます。

現在テレビの地上デジタル放送を再送信している設備については、運用開始から10年以上が経過し、故障した場合の修繕が不可能という状態であることから、新年度に設備の更新を行います。

## ● 「選択と集中の行政運営」について

村道整備については、令和3年度に着工し一部未改良となっている小野川地内の村道改良舗装工事に関し、県との河川協議の業務委託を行い早期の完成を目指します。また、これまでの要望を踏まえ、現在の実情や緊急性などを勘案し、中向地内及び下中津川地内の村道等の測量設計業務委託を計画するとともに、下中津川地内の村道改良舗装工事を計画しております。

村道等の維持管理については、路面の補修等を計画的に行うとともに、橋梁81橋の定期点検業務委託と、長寿命化計画に基づき一つの補修設計業務委託及び補修工事を行い、安全の確保に努めていきます。

簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併浄化槽事業の各特別会計においては、著しい人口減少等による料金収入の減少や、施設・管路等の老朽化に伴う更新

投資の増大が懸念されます。また、国や地方の財政状況が今後ますます厳しくなることが予想されることから、将来に渡って持続可能な経営を確保し、将来の見える化による経営基盤の強化が必要でありますので、令和5年度の地方公営企業法への移行に向け、必要な準備を着実に進めていきます。

## 村長との対話室を受け付けています

日頃「昭和村」について考えていることを、気軽に村長と話し合いませんか。日時を調整しますので、総務課までお電話にてご連絡ください。

●場 所：昭和村役場 村長室

●お問い合わせ：昭和村役場 総務課 総務係 ☎ 0241-57-2111

【連載】新史料紹介

## 野尻組の「麻」「からむし」

〜第99回〜

昭和村文化財保護審議会委員長

菅家 博昭(大岐)

## 巣子(すご)

2022年3月16日の夜11時34分、36分と、福島県沖を震源とする震度6強の強い地震が発生した。大震災から11年目、前年2月にも強い地震(余震)が発生しており、浜通りから中通りは被害が発生している。東北新幹線が宮城県白石付近で脱線した。会津地方では震度4から5であったが震源から離れているためそれほど被害は発生していない。とはいえ、累積10mを越える積雪があった本村。本年は豪雪となつている。無人家屋の下屋や土蔵の屋根が破損したところも多い。豪雪被害が発生している。こうした多雪の年の「かすみ草」の越冬株は野ネズミ被害を受けることが経験的に多いということがわかつて

この日の日中は晴天であつたので、定期的に個人で行っている南会津郡内のワシタカ調査を行った。オオタカが3カ所で飛翔するのが確認できた。さて、『鷹狩の日本史』

(勉誠出版、2021年)という本が刊行された。これは2016年から5年間行われた研究プロジェクト「日本列島における鷹・鷹場と環境に関する総合的研究」のまとめ書で26人の研究者が参加した。

昭和村は、藩政時代は野尻組と言われたが、この大芦村では鷹類のヒナを獲る場所がわかつており保護されていた。巢で生まれたタカのヒナを巣子という。会津若松の東山奥の大巣子もタカのヒナを捕獲した場所である。『新編会津風土記』の大

芦村の大山に次のような記載がある。

「村より末の方1里18町にあり、頂まで1里3町、また村の巳の方2里に能山(のうやか)という山あり、大山より稍卑し(低い)、共に鷹の巢を架する所なり」

大芦の2カ所、大山と能山には鷹が巢を架けると明記されており、こうした場合はオオタカあるいはハイタカの巣子を獲る場所としている。

私は以前『会津のワシとタカ』(歴史春秋社ブツクレット、2000年)の執筆を担当したことがある(日本野鳥の会会津支部編)。その際にこの風土記記載の鷹の巢を調べた。たとえば現在の会津田島の針生の黒森山はハイタカの巢、桧枝岐村はハイタカ、イヌワシは只見川の寄岩村、西山の牧沢村の猿倉岳等が記載されていた。

『会津若松史8巻』に、中近世移行期の会津蒲生

家の時代の資料が掲載されている。文禄年間から慶長2年(1597)までの記録で、鷹匠の浅利金介が買い入れた鷹のヒナ類の記録が19項目ある。そのなかに次のような記録がある。

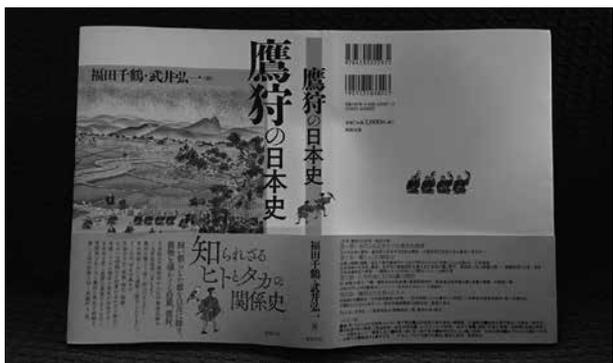
・4月25日、600文 中津川村より巣子上申 山祝

・6月2日、1貫文 中津川より御鷹の巣子 上申 山祝

この中津川が現在の昭和村なのか、山形県にある中津川なのか特定はできない。当時の蒲生家は会津・山形県・宮城県まで領域を持っていた。しかし拠点の会津若松(黒川)に鷹のヒナは集められ飼養され訓練され、京にいる秀吉権力等に寄贈されている。鷹の飼養には餌が必要で、餌指(えさし)といわれる人々が野の小鳥を採取していた。その際には、「かけもち糸」を使用した。トリモチを付けた糸がたくさん張られ

て小鳥を捕っていた(加賀藩の事例)。糸はアサであらうか? カラムシであらうか?

加賀藩が飼養するハヤブサ(隼)15個体(居すえ、という)で、1羽はハト2羽を食し、毎日30羽が用意された。小鳥であれば240羽である。1年間だとハト1万羽、小鳥8万羽がタカの餌として消費された。蒲生家瓦解の後、浅利金介は秋田に移り土着している。



地域おこし協力隊

松尾

悠亮

## 江戸時代の伊勢参り②

前回に引き続き、天保7年（1836）の『参宮道中記』（下中津川、個人蔵）から江戸時代の伊勢参りについてご紹介します。

### 1、伊勢での宿泊と食事

天保7年1月15日に伊勢へ出発した下中津川の6名は、2月11日に伊勢へ到着し、西河原町左京の堤大夫の所に宿泊しました。堤は伊勢の御師（おんし）（祈禱を行い参詣に来た人の宿泊の世話をする下級の神職）の1人かと思われます。堤と昭和村との関係は分かりませんが、弘化3年（1846）に野尻から伊勢参りをした一行も同じく堤の所に宿泊しました。翌日の12日は雨のため

参宮は延期、13日に下宮・内宮の参拝を行い、14日に伊勢を発ちました。この道中記には、11日と12日の夕飯の献立が記録されています。

11日：〈本膳〉皿（鱈・鯛の餚かけ）、角豆腐の汁味りん酒入り、坪

（干大根・生海苔ほか）、飯（二の膳）猪口（香の物）、皿（マグロの刺身）、平（しいたけ・寒さらし・豆腐・かまぼこ）、天皿（鯛）

12日：〈本膳〉御酒、皿

（鱈・大根・人参）、坪（切大根・人参・海苔・麩）、飯（二の膳）小皿（鯛の刺身）、猪口（酢味噌）、猪口（干大根ほか）、平（貝ほか）大皿（鎌倉海老）

### 2、伊勢で巡った場所

13日、まず下宮を参拝、そして40の末社を巡りながらそれぞれへ賽銭を上げました。「天ノ岩戸」を経て、町に出ると馬に乗って、内宮は「御宮前御役人」の案内で参詣し

ました。「朝戸山虚空蔵様」も参詣し、堤大夫の所へ帰りました。夜は小神楽の祈禱を受けました。

### 3、伊勢参りの費用

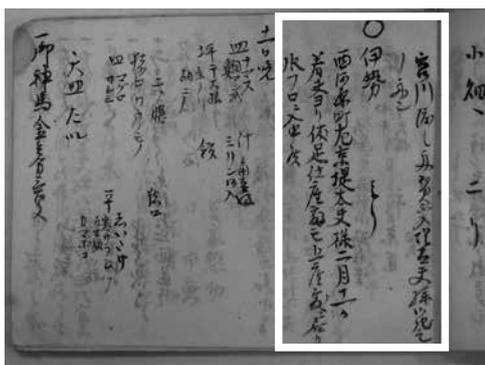
この道中記には、各宿場での宿泊費、途中の舟賃も記録されています。宿場によって変動しますが、大体一泊170文、しかし、城下町では値上がりして、江戸では3泊で670文支払っています。舟賃は、例えば栗橋・幸手間（埼玉）で利根川を渡る時は24文と書かれています。それ以外にも、江戸や大坂等の芝居小屋などの見物料、伊勢では神馬金（1分300文）・小神楽（3分300文）といったお金がかかりました。

### まとめ

2回にわたり紹介した伊勢道中記には、各地で見聞した場所や費用がかなり細かく書かれています。12日夕飯の献立にある「鎌倉海老」とは伊勢海老のことで、長さ（大きさ）2尺ばかり（約60

cm）と書かれています。伊勢での食事は今の私たちからみても豪華に感じるものかと思えます。一生に一度は伊勢へと言われますが、このような記録は、伊勢へ行く後世の人の参考になるようにと書かれたようです。

### 画像 『参宮道中記』(天保7、個人蔵)



「宮川渡し舟賃不入、堤大夫様御馳走ノ舟也」と有名な宮川渡しでは舟賃はかかっていない。

二月十一日着、夫ヨリ休足仕、座敷モ上座敷ニ居リ、水フロニ入申候」と堤の元で好待遇を受けている。

みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数、100人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで「昭和村」を友だち追加



ID: @showavill

LINEで

昭和村からのお知らせ

を受け取ろう!!

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

アンニック  
が見た  
昭和村

Showa Village  
Watched by Annick

#15

ひらがな  
カタカナ



外国語指導助手  
アンニック先生

(原文)

Hello residents of Showa Mura,  
This month I thought I would share why I started learning Japanese. I used to take the bus home from Junior High School. Inside the bus there were instructions in Japanese. I was very interested in the shapes of the characters and was curious as to how it was read. I didn't know the difference between Hiragana, Katakana or Kanji at the time, so it all looked the same to me. The two characters I liked the most were Katakana 'Shi' and 'Tsu', because they looked like a person smiling. I forgot about this memory until I saw the instructions again while riding a bus in university. This time I decided to try figure out what those two characters meant. I wasn't sure where words started and where they ended, as Japanese usually does not have spacing between the words like English does. I also wondered if a single character was a word, or if several characters made one word. I downloaded a Japanese learning app on my phone, and first learnt the Hiragana Alphabet and a few phrases. The first phrase I memorized was "お元気ですか?" I would repeat the phrase many times and annoy my cat by asking her the phrase constantly. After Hiragana, the app taught me Katakana, and I finally discovered 'Shi' and 'Tsu'. I felt very accomplished to have found my answers this way and had enjoyed memorizing the characters so much that I decided to keep studying. I realized the best way to learn Japanese was to be submerged in the language. So, I came to Japan. I should teach my cat more Japanese phrases so she can speak to the other cats if she visits. Until next time.

- Annick

(日本語訳)

※註：これまで翻訳を担当してきました教育長の安藤哲朗です。拙い和文で「アンニック先生の真意が伝わっていないかも…」と、毎回心配しながら意識していましたが、ご愛読いただき、時々感想などもいただけたことが励みになっていました。この度の退任に伴い、どなたかボランティアで訳してくださる方を探しております。どうかよろしくお願いたします。これまでご愛読くださいましたことに深く感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

昭和村民の皆様、こんにちは。  
今月は私がなぜ日本語を学び始めたのか、その理由をお話したいと思います。

私は以前、中学校からバスに乗って帰宅していました。バスの中には日本語で書かれた指示もありました。私は文字の形がとてもおもしろいと思い、なんて読むのか興味がわいてきました。当時はひらがな、カタカナ、漢字の違いが分からなかったの、全部同じように見えました。私が一番気に入った2つの文字は、カタカナの'シ'と'ツ'で、人が笑っているように見えたからでした。

大学の時にバスに乗っている間に、また日本語で書かれた指示を見た時、あの時の記憶がよみがえりました。今度は、この2つの文字がどういう意味なのか、つきとめることにしました。

日本語は英語のように単語の間に間隔が空いていないので、単語がどこから始まってどこで終わっているのかわかりませんでした。また、1つの文字が単語なのか、複数の文字が1つの単語を作っているのか、疑問に思いました。

スマホで日本語学習アプリをダウンロードして、初めてひらがなの文字といくつかの短い文を学びました。私が最初に覚えた短文は「お元気ですか?」で、これをいつも何度も私の猫に、繰り返し尋ねていたことで、猫には煩わしい思いをさせました。

ひらがなの後、アプリでカタカナを学び、私は遂に「シ」と「ツ」を発見しました。私は自分でこのように答えを見つけたことに大きな達成感を得て、文字を覚えるのが楽しかったので、勉強を続けることを決めました。言語を学ぶ一番いい方法は、日本語に(水没するみたいに)浸ることだと気づき、それで私は日本にきました。私は私の猫にもっと日本語の短文を教えて、猫が日本を訪れた時に、他の猫と話せるようにしてあげた方がよかったかな。

またの機会まで。

～アンニック



## 固定資産価格等の縦覧について（お知らせ）

固定資産課税台帳に登録されている価格等の内容をご覧いただけますので、ご希望される方は印鑑をご持参のうえ、ご来庁ください。

なお、この期間内に限り手数料は無料です。

1. **縦覧期間** 令和4年4月1日から令和4年5月2日まで  
(ただし、土曜日・日曜日・祝日を除き、毎日午前9時から午後5時まで)
2. **縦覧場所** 昭和村役場住民係（窓口）

【お問い合わせ】 昭和村 総務課 住民係 ☎ 0241-57-2113

## 家屋を取り壊したら届出を忘れずに

固定資産税は、毎年1月1日に土地・家屋・償却資産を所有している人に課税されます。住宅、車庫、土蔵など家屋の全部や一部を取り壊したときは、役場住民係に『家屋滅失届』を提出していただく必要があります。

なお、家屋滅失届の用紙は役場窓口にありますので、取り壊し後は忘れずに提出ください。

また、新築や増築された場合も、ご一報くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 昭和村 総務課 住民係 ☎ 0241-57-2113

## 令和4年度 県政相談のお知らせ

県では、県政に関する相談や要望、または県民生活に関する相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

### 1. 相談場所

福島県庁県政相談コーナー及び県の各合同庁舎内県政相談コーナー  
なお、この期間内に限り手数料は無料です。

### 2. 相談時間

月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9時～12時、13時～16時

### 3. 県政相談専用電話

県庁：県政相談コーナー ☎ 0120-899-721 または 024-521-7017

メールアドレス kenseisoudan@pref.fukushima.lg.jp

**最寄りの県政相談コーナー** 会津地方振興局県政相談コーナー ☎ 0120-899-724

【お問い合わせ】 福島県 県民広聴室 ☎ 024-521-7013

## 警察署からのお知らせ

### なりすまし詐欺被害防止

・実在する企業を装うメールに注意

#### ◆フィッシングメールとは？

実在する企業などを装ったメールを送信し添付されたURLで本物そっくりの偽サイトに誘導した上、登録情報の確認などの名目でIDやパスワード、クレジットカード番号、インターネットバンキングの情報などを入力させて窃取し不正送金などに悪用する悪質な犯罪です。

#### ◆どんなメールに注意すれば良いの？

金融機関や宅配業者、通販会社などから送信されたURLへのアクセスを促すメール

- 心当たりのないメールは開かず削除！
- 添付ファイルやリンク先を安易にクリックしない！
- 個人情報を入力するときはサイトが本物かどうか確認する！

会津坂下警察署 (0242-83-3451)

### 昭和村内街頭犯罪等発生状況 (令和4年2月末現在)

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
その他刑法犯等	6	0
全刑法犯	6	0

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和4年1月1日からの累計数になっています。

## 消防署からのお知らせ

### 春到来。乾燥シーズンはまだ終わらない！

暖かな春の日ざしがなによりうれしい季節となりました。

しかし、春は季節風により風が強く、空気が乾燥しているため、火災の危険が高まります。

#### ●今一度ストーブの取り扱いに注意！

- ・ ストーブの上に洗濯物を干さない。
- ・ 暖房器具のまわりは、つねに整理整頓する。
- ・ 火を消してから、給油する。



4月は風が強く、乾燥しているため、  
火の扱いには十分ご注意を！！



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなど火災を感知しなくなることがあります。定期的な作動点検、10年を目安にした交換の検討をお願いします。

火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所  
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

## ◆◆◆ 4・5月の休日当番医 ◆◆◆

- 4月10日(日) 昭和村国保診療所  
☎ 0241-57-2255 (昭和村)
- 17日(日) 星医院  
☎ 0242-83-2136 (会津坂下町)
- 24日(日) 柳津町国保診療所  
☎ 0241-42-2334 (柳津町)
- 29日(金) あかぎ内科消化器科医院  
☎ 0242-83-0303 (会津坂下町)
- 5月1日(日) 寿松堂渡辺医院  
☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)
- 3日(火) 吉川医院  
☎ 0242-56-3358 (会津美里町)
- 4日(水) 県立宮下病院  
☎ 0241-52-2321 (三島町)
- 5日(木) 平野医院  
☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)
- 8日(日) 高田厚生病院  
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)

次回広報発行までの間の休日当番医を掲載します。通院の参考にして下さい。

## ◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和4年2月1日～2月28日受付

- お誕生おめでとうございます  
今月の掲載はありません
- ご結婚おめでとうございます  
今月の届け出はありません
- おくやみ申し上げます  
今月の届け出はありません

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

## ◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和4年3月1日現在※住民基本台帳人口

人口	1,174人 (+5)	出生	1人
男	567人 (+1)	死亡	0人
女	603人 (+4)	転入	5人
世帯数	641戸 (+2)	転出	1人

## ◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

### <健診意向調査について>

令和4年度の健診について、受診の意向を確認する「健康管理世帯台帳」が4月中旬に送付されます。

健診をぜひ受診されますよう世帯台帳にご記入の上、ご提出くださいますようお願いいたします。

### 新型コロナウイルス感染症関連情報

4月は進学や就職、勤務先の異動などで人の移動が多くなる時期です。

感染拡大を防止するため、引き続き基本的な予防対策の徹底をお願いします。

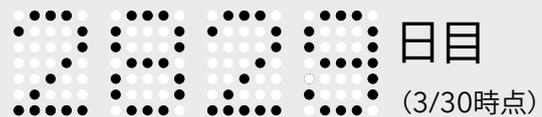
### 県外への往来があったなど、 感染への不安がある時

- ・症状がある場合はかかりつけ医にご相談ください。
- ・症状がない方(希望者)は村のPCR検査をご利用ください。

対象：①昭和村に居住されている方及び  
村内で勤務されている方  
②無症状でPCR検査を希望される方  
申込：保健福祉課(57-2645)  
受付：月曜日から木曜日(祝祭日を除く)

## 交通死亡事故ゼロカウント

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。



## ◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 軽自動車税
- ◎ 固定資産税

〔納期限：令和4年5月2日〕



広報

しょうわ

2022

4

No.635

発行日：令和4年4月6日  
編集・企画：昭和中津川村役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和中津川字中島 652  
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044  
WEB: https://www.vill.showa.fukushima.jp/

## 地域の幸せづくり活動紹介

### 「経験を活かしてボランティア活動～下中津川班～」

月に1度、すみれ荘では「よつばの会※」の調理実習がおこなわれています。その時に調理の補助にあたっているのが、ボランティアグループ「下中津川班」です。社会福祉協議会が以前に実施していたお昼の配食サービスの経験を活かして、下ごしらえからお弁当容器に詰めるまでをお手伝いされています。

お弁当が出来上がると拍手で完成を喜び「また来月も会おうね！来月は何日かな？」とよつばの会の皆さんと再会を約束していました。いつかまた、コロナが収束して、会食もできる日が来る事を願っています。

※よつばの会は、障がいのある村内在住の方々の地域生活支援をするため、農作業や製品加工、地域住民との交流など様々な活動をおこなっている会です。

(昭和中津川村社会福祉協議会内に事務局があります。)

生活支援コーディネーター 和泉 朋子・小林さや香



## 村民・村外（昭和中津川村にご家族・ご親戚がいらっしゃる方）のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、全戸配布文書及び昭和中津川村ホームページ特設ページにて情報をお知らせしています。

新型コロナウイルス感染症特設ページ（スマートフォン対応）

<https://www.vill.showa.fukushima.jp/covid19/>



## はた音

例年より多く積もった雪も、晴れ間が覗くと、みるみるうちに減っていきます。

花農家さんたちが、ハウスの除雪をしている姿を目にすると、新しい季節が始まるなあと感じます。

保育所の修了式などで、同級生のお子さんや、知り合いのお子さんの小学校卒業など、子供の成長は早いなあと感じます。

さて、新年度です。広報しょうわ、そしてお知らせ版「コバシリ」、村公式LINEを今年度もよろしくお祈いします。（こ）

### 昭和中津川村民憲章

- 一、伝えましょう  
はた音の響き
- 一、守りましょう  
手技の智恵
- 一、創りましょう  
おいしい水  
豊かな大地
- 一、育てましょう  
健やかな心と体  
長寿の里
- 一、助け合おう  
助け合おう心  
いたわりの気持ち
- 一、広げましょう  
明るい笑顔  
みんなの和

### 皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp